

一般社団法人日本超音波検査学会 会員の皆様へ

福島県及び福島県立医科大学では、東日本大震災に伴い発生した東京電力福島第一原発事故による放射能汚染を踏まえて、将来にわたる健康管理を行い、県民の安全・安心の確保を図ることを目的として全県民を対象とする福島県「県民健康管理調査」を行っております。そのなかで、震災時に0歳から18歳であった全県民を対象に、甲状腺検査の一次検査（超音波検査）を行って参りました。

これまで、平成23年10月からの福島県立医科大学附属病院での土日祝日の実施、その後11月中旬からの学外各地域での平日の実施と、すでに3万人を超える方に対する一次検査が終了しています。

一次検査では、5.1mm以上の結節（しこり）又は20.1mm以上の嚢胞（充実性部分を含まない、コロイドなどの液体の貯留のみのもの）を二次検査（詳細な超音波検査、血液検査、尿検査、必要に応じ細胞診）の対象としておりますが、平成24年2月21日現在、77名が5.1mm以上の結節（しこり）があることが認められました。

しかしながら、結節の大きさなどから推測すると、事故以前から存在していた可能性が高いと考えられ、その状態から大部分は良性の結節であることが予想されます。

今後、福島県内において一次検査を受けた方のうち、二次検査対象の希望者に対して平成24年3月下旬から福島県立医科大学附属病院において二次検査を開始し、順次行っていく予定です。

今後も外来等において、保護者の皆様から問い合わせやご相談をいただくことが予想されますので、その保護者の皆様に対して甲状腺検査の説明について会員の皆様へのご周知をお願いします。

今後とも本検査へのご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成24年 3月12日

福島県立医科大学理事長 菊地 臣一

甲状腺検査(一次検査)の結果
二次検査をお勧めされた皆さま、
その保護者の皆さま

県民健康管理調査 甲状腺検査(二次検査)のお知らせ

Fight!
Fukushima!

**がんばろう
ふくしま!**

福 島 県
福島県立医科大学

甲状腺検査（二次検査）について



この度は、福島県及び福島県立医科大学が実施しました「甲状腺検査（一次検査）」をお受けいただきまして、ありがとうございました。

この甲状腺検査は、今回の東日本大震災に伴う東京電力(株)福島第一原発事故による放射能汚染を踏まえて、子どもたちの健康管理を行うため、現時点での甲状腺の状況を把握するとともに、生涯にわたる健康を見守り、本人や保護者の方に安心していただくために実施しております。

お受けいただいた甲状腺検査（一次検査）の結果につきましては、慎重な検討を行い、既に結果をお知らせしたところでありますが、その際に念のため、甲状腺に関する二次検査（詳細な超音波検査、血液検査、尿検査など）をお勧めしたところであります。

皆さまの中には、今回の東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故による放射線の影響で、甲状腺に結節（しこり）や嚢胞（液体が入っている袋のようなもの）ができたのではないかと心配されている方もいらっしゃるかと思いますが、大きさなどから推測すると事故以前から存在していた可能性が高いと考えられます。また、二次検査の対象となった皆さまの大部分は、その状態から推測すると良性の結節（しこり）や嚢胞であることが予想されますので、安心して二次検査をお受けいただければと思います。

二次検査の概要は以下のとおりです。お忙しい中での2回目の検査となりますが、ご理解をいただき、検査をお受けになるようお願いいたします。

1 対象者

甲状腺検査において二次検査をお勧めされた方（「B判定」と判定された方）

※ 本検査は**保護者の同意**のもと実施いたします。

2 検査日時及び実施場所

同封の「**県民健康管理調査に係る甲状腺二次検査の実施について（お知らせ）**」に記載されている**検査日時、場所**となります。

検査日時の変更を希望される場合、また、**検査を希望されない場合**には、お手数でも、福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター（県民健康管理調査事務局）まで電話によりご連絡願います。

3 検査内容

（詳細は次ページの「甲状腺検査（二次検査）の内容について」をご覧ください。）

- **詳細な超音波検査**
超音波検査機器を使用して甲状腺についてより詳しい検査を行います。
- **血液検査**
血液をとって甲状腺に関連する血液の検査を行います。
- **尿検査**
尿をとって甲状腺に関連する尿の検査を行います。

4 検査結果について

二次検査結果については、**検査終了後に保護者の方へ直接ご回答すること**としております。なお、血液検査及び尿検査については分析などに時間を要するため、検査日当日に検査結果をご回答することはできません。お手数ですが、後日改めて福島県立医科大学附属病院へお越しの際にご回答いたします。

また、データは、個人が特定されない形で統計的に処理され、個人のお名前や検査結果が公表されることは一切ありません。

甲状腺細胞診検査 の疑問にお答えします。



福島県
福島県立医科大学

甲状腺検査（二次検査）において、詳細な超音波検査などの結果により、必要に応じて**甲状腺細胞診検査（穿刺吸引細胞診）**を行う場合があります。

■ 甲状腺細胞診検査とはどんな検査ですか？

甲状腺にある結節性病変（しこり）に細い針を刺して、しこりの内部から細胞を吸い取る検査で、超音波検査機器で見ながら行うこともあります。

吸い取った細胞を顕微鏡で観察し、どういう細胞かを判定します。

■ 痛みはありますか？

細い針ですが、首の皮膚に刺しますので「ちくっ」とした痛みがあります。10秒くらいで終わります。首に針をさすので、怖いと思うかもしれませんが、安全にできる検査です。

■ 検査後に気をつけることなどはありますか？

針を刺したところを絆(ばん)創(そう)膏(こう)の上から2～3分間程度しっかりと押さえていれば大丈夫です。食事やお風呂など日常生活には特に制限はありません。きわめてまれに、検査後に腫れたり、痛みを感じることもありますが、その場合は福島県立医科大学にご連絡ください。

■ 甲状腺細胞診の費用の自己負担はありますか？

二次検査での甲状腺細胞診検査費用の自己負担はありません。（二次検査後に、仮に経過観察や治療となった場合、その医療費の自己負担が発生する可能性があります。各自治体で行っている医療費無料制度が適用されれば、実質的な費用負担はなくなる場合も考えられます。）

【お問い合わせ先】

○ 甲状腺検査に関するお問合せ

福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター

県民健康管理調査事務局

電話番号 024-549-5130 (9:00～17:00 土日祝日を除く。)

【参考】甲状腺検査スケジュール及び対象者

福島県及び福島県立医科大学では、平成26年度以降も、甲状腺検査（本格検査）として、20歳までは2年ごと、それ以降は5年ごとに検査を行い、生涯わたり県民の健康を見守り続けます。

	事項	時期	実施場所	対象者
検査 1回目	↑ 先行検査	平成23年10月 ～11月	福島県立医科大学	計画的避難区域（以下「先行区域」という。）の対象者の一部（川俣町山木屋地区、浪江町、飯舘村）
	↓ 全 県 先行検査	平成23年11月 ～平成26年3月	保健センター、公民館、 学校等の施設 福島県立医科大学医師 等の派遣、県内外の医 師等の協力により実施	先行区域内の未実施者 及び先行検査以外の対象者
2回目 以降	全 県 本格検査	平成26年4月 以降	県内の検査拠点施設や 県外の医療機関等	上記「対象者」全員 ※20歳までは2年ごと、 それ以降は5年ごとに検 査を実施

【参考】甲状腺検査全体スケジュール

	実施場所	対象地域	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度 以降
先行検査	福島県立 医科大学	先行区域				
全 県 先行検査	保健センタ、公 民館、学校等	上記以外				
全県本格検査	未 定	全 県				

【お問い合わせ先】

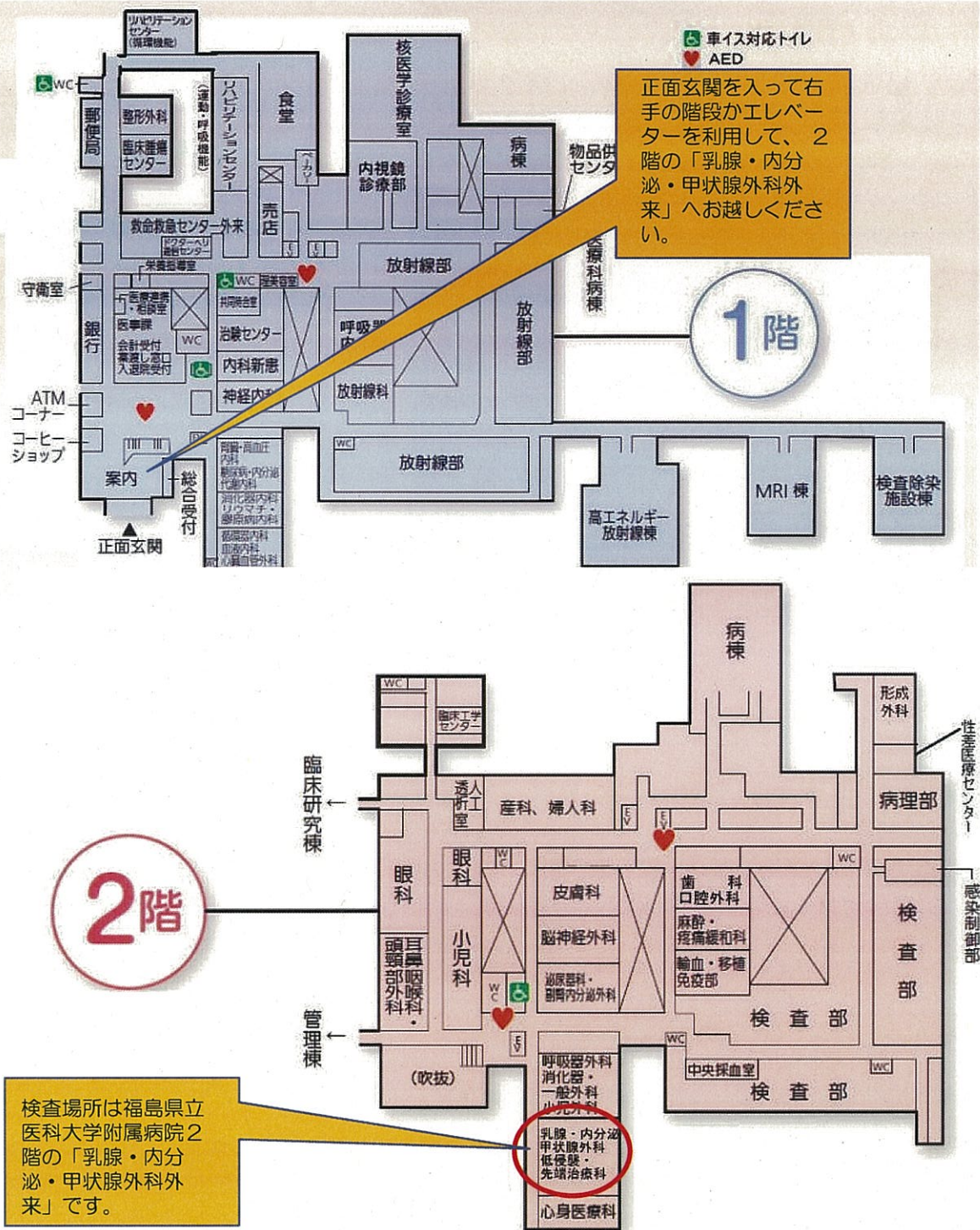
○ 甲状腺検査に関するお問合せ

福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター

県民健康管理調査事務局

電話番号 024-549-5130（9:00～17:00 土日祝日を除く。）

■ 検査場所の案内図



【お問い合わせ先】

- 甲状腺二次検査に関するお問合せ
 福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター
 県民健康管理調査事務局
 電話番号 024-549-5130 (9:00~17:00 土日祝日を除く)
- 県民健康管理調査全般に関するお問合せ
 福島県保健福祉部 健康管理調査室
 電話番号 024-521-8028 (8:30~17:00 土日祝日を除く)

■甲状腺検査（二次検査）の内容について

詳細な超音波検査

超音波検査機器を使用して、甲状腺についてより詳しい検査を行います。

この超音波検査は、ゼリーをつけた器械（2cmx5cm程度）を首に当てて甲状腺を検査します。注射等と異なり、痛くもなく、また無害ですので安心して検査を受けてください。

血液検査

甲状腺が正常に機能しているかどうかを判断するために、血液をとって、その血液の甲状腺に関連する項目を検査します。

検査項目は次のとおりです。

- TSH（甲状腺刺激ホルモン）
- FT-3（遊離トリヨードサイロニン）
- FT-4（遊離サイロキシン）
- Tg（サイログロブリン）
- Tg-Ab（抗サイログロブリン抗体）
- TPO-Ab（抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体）

尿検査

尿の中にヨウ素があるかどうかを判断するため、尿をとって、その尿の甲状腺に関連する項目を検査します。

検査項目は次のとおりです。

- 尿中ヨウ素

甲状腺細胞診検査（穿刺吸引（せんしきゅういん）細胞診）

詳細な超音波検査の結果、良性か悪性かを定めるために、しこりから細胞を吸引する**穿刺吸引細胞診**について行うかどうか医師が説明する場合があります。

検査時間は数秒から数十秒程度で、痛みは血液を腕から採取する程度です。（穿刺吸引細胞診については、同封の「甲状腺細胞診検査の疑問にお答えします。」もご覧ください。）

なお、穿刺吸引細胞診を実施する場合は、**また改めて日時をお知らせ（二次検査時にお伝え）**します。

以上の二次検査については、甲状腺認定専門医を中心に、福島県立医科大学附属病院において、万全の体制を整えていますので、安心して検査をお受け下さい。

【お問い合わせ先】

○ 甲状腺検査に関するお問合せ

福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター
県民健康管理調査事務局

電話番号 024-549-5130（9:00～17:00 土日祝日を除く。）

福島県立医科大学までのアクセス



所在地
〒960-1295 福島県福島市光が丘1

交通アクセス

【JR福島駅から】

約10km 自家用車等運転所要時間/約20分
タクシー料金約3,200円(時間帯・運行状況により異なります)。

○JR福島駅東口等から路線バスが運行されています。

■福島交通

【乗車】東口5番ポールより

「バイパス経由医大」/伏拝・医大・美郷団地経由松川 / 「医大・立子山経由飯野町」/ 「医大經由二本松」

/ 「南福島タウン・桜台経由医大」/ 「清水町経由医大」行き

【下車】「医大病院前(所要時間約35分) 附属病院正面玄関に停車

【JR金谷川駅から】

平成22年10月1日より、JR金谷川駅間の路線バスが運行しています。

福島県立医科大学(附属病院)マップ

